

令和 6 年 7 月 10 日

国土交通省関東地方整備局

荒川下流河川事務所

令和 5 年度 優良工事等荒川下流河川事務所長表彰について

～優良な工事、業務等を表彰します～

国土交通省荒川下流河川事務所は、令和 5 年度に完了した工事、業務の中で特に優れた成績を収めた工事、業務、技術者等について、下記のとおり表彰します。

また、建設業界全体の生産性向上及び働き方改革等につながる優れた実績を有している企業について、関東インフラ D X 大賞表彰式も併せて執り行います。

1. 日時：令和 6 年 7 月 12 日（金）10 時 00 分～12 時 00 分

2. 場所：荒川下流河川事務所 1 階アモアホール

3. 表彰件数及び人数

優良工事	2 件
優良下請企業及び優秀下請技術者	4 件
難工事功労	8 件
荒川下流河川事務所工事功労者	2 件
優良業務及び優秀技術者	1 件
関東インフラ D X 大賞	1 件

4. 当日の取材について

マスコミ関係者で取材を希望される方は 7 月 11 日（木）12 時までに以下のとおりメールにてご連絡ください。当日は、腕章を持参のうえ、各社 1 名まででお願いします。

件名：【取材希望】優良工事等表彰

本文：氏名（ふりがな）、所属、連絡先（電話番号、メールアドレス）

送付先：ktr-arage-press@ki.mlit.go.jp

<発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、都庁記者クラブ、神奈川建設記者会、川口市記者クラブ

<問い合わせ先>

国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所

電話：03-3902-2311（代表）

メールアドレス：ktr-arage-press@ki.mlit.go.jp

副所長 門屋 博行（かどや ひろゆき）

地域防災調整官 増井 博之（ますい ひろゆき）

令和５年度 優良工事等荒川下流河川事務所長表彰について

1. 表彰件数及び人数（工事名等別紙参照）

優良工事	2 件
優良下請企業及び優秀下請技術者	4 件
難工事功労	8 件
荒川下流河川事務所工事功労者表彰	2 件
優良業務及び優秀技術者	1 件
関東インフラDX大賞	1 件

2. 目 的

優良工事、優秀工事技術者、優良下請企業及び優秀下請技術者、優良業務及び優秀技術者、難工事功労については、荒川下流河川事務所が発注した工事及び業務に関しその施工等が優秀であって他の模範とするに足りるものを優良工事等として選定し、これを表彰することにより、技術の向上及び円滑な事業の推進に資することを目的としています。

荒川下流河川事務所工事功労者表彰は、荒川下流河川事務所が発注した工事に関してその施工が優秀であって他の模範とするに足りるものを選定することにより、企業及び技術者としての誇りと資質の向上を図り、円滑な事業の推進に資することを目的としています。

関東インフラDX大賞はインフラ分野のDXに係る優れた取組を選定し、これを表彰することにより、建設業界のインフラDX推進に資することを目的としています。

3. 選定方法

優良工事等の選定は、主任監督員から推薦された工事及び所内関係課から推薦された業務の中から、優良工事等選定委員会において審査を行い選定しました。

荒川下流河川事務所工事功労者表彰の選定は、優良工事等の対象となった工事を除いた工事の中から、所内選定委員会において審査を行い選定しました。

4. 選定方針

（優良工事）

- 当該工事の成績が優良なもの、又はその功績が顕著なもの。
- 生産性の向上や働き方改革に資する等が特に優れているもの。

（優秀工事技術者）

- 担当した工事が優良であり、工事中における功績が顕著なもの。
- 管理能力、技術能力、仕事に対する積極性、誠実性等が優れているもの。

(優良下請企業及び優秀下請技術者)

- 下請けとして担当した当該工事の品質、出来ばえ等が優秀及び工事中における功績が顕著なもの。

(難工事功労)

- 当該工事の成績が優秀なもの、又はその功績が顕著なもの。
- 当該工事の社会条件、マネジメント特性厳しい工事を対象とした「難工事指定」対象工事の内、施工が良好で他の模範とするに足るもの。

(荒川下流河川事務所工事功労者表彰)

- 当該工事の成績が優秀なもの、又はその功績が顕著なもの。
- 当該工事の難易、規模、重要性及び地域への貢献の度合いなどについて、重点に選定。

(優良業務及び優秀技術者)

- 当該業務の成果が優秀又はその功績が顕著なもの。
- 生産性の向上や働き方改革に資する等が特に優れているもの。

(関東インフラ DX 大賞)

- 「行政手続きのデジタル化」「情報の高度化とその活用」「現場作業の遠隔化・自動化・自立化」の観点から、工事等種別、有効性、先進性、波及性等が特に優れているもの。

5. その他

優良工事等荒川下流河川事務所長表彰の受賞者は、入札契約手続きにおける企業及び担当技術者の技術力評価が優位になります。

令和５年度 優良工事・優良業務等表彰一覧

事務所長表彰

優良工事表彰

工事名	会社名	優秀工事技術者
R 4 あらかわかりゅうさがんかわぐちちくまばんせいびこうじ R 4 荒川下流左岸川口地区基盤整備工事	きょうりつげんせつかぶしきがいしゃ 共立建設株式会社	
R 4 あらかわかりゅうさがんまつしまにちようめちくじようりゅうこうすいじまくっさくこうじ R 4 荒川下流左岸松島二丁目地区上流高水敷掘削工事	ただげんせつかぶしきがいしゃ 多田建設株式会社	

優良下請企業及び優秀下請技術者表彰

工事名	会社名	優秀下請技術者
R 3 あらかわなかていにしこまつがわまちちくごがんこうじ R 3 荒川中堤西小松川町地区護岸工事	おのだけみこかぶしきがいしゃ 小野田ケミコ株式会社	主任技術者 かめだ まさのり 亀田 昌紀
R 4 あらかわかりゅうさがんかわぐちちくまばんせいびこうじ R 4 荒川下流左岸川口地区基盤整備工事	かぶしきがいしゃさいたま資材 株式会社さいたま資材	主任技術者 ふくざと やすのり 福里 靖律
R 4 あらかわかりゅうさがんまつしまにちようめちくじようりゅうこうすいじまくっさくこうじ R 4 荒川下流左岸松島二丁目地区上流高水敷掘削工事	かぶしきがいしゃおかわこうぎょう 株式会社塩川興業	主任技術者 のろ いさむ 野呂 勇
R 3 あらかわなかていにしこまつがわまちちくごがんこうじ R 3 荒川中堤西小松川町地区護岸工事	みにくはやけんせつかぶしきがいしゃ 三国屋建設株式会社	主任技術者 あんどう まお 安藤 真央

難工事功労表彰

工事名	会社名
R 4 きゅうしぼかわはいすいまじょうひかんげーとせつびかいりょうこうじ R 4 旧芝川排水機場樋管ゲート設備改良工事	いいだてっこうかぶしきがいしゃ 飯田鉄工業株式会社
R 3 しやうぶがわ・ささめがわとうじょうかどうすいまじょうほかにんぶせつびしゅうぜんこうじ R 3 菖蒲川・笹目川等浄化導水機場外ポンプ設備修繕工事	かぶしきがいしゃえぼらせいさくしょ 株式会社荏原製作所
R 5 おなぎがわかんないさがんいじかんりこうじ R 5 小名木川管内右岸維持管理工事	まむらこうぎょうかぶしきがいしゃ ギムラ工業株式会社
R 5 いわぶちかんないさがんいじかんりこうじ R 5 岩淵管内左岸維持管理工事	かぶしきがいしゃけいみックス 株式会社ケイミックス
R 5 おなぎがわかんないさがんいじかんりこうじ R 5 小名木川管内左岸維持管理工事	せきぐちこうぎょうかぶしきがいしゃ 関口工業株式会社
R 4 あらかわかりゅうさがんはやせいいつちようめちくほかがんさいせいこうじ R 4 荒川下流左岸早瀬一丁目地区外河岸再生工事	ならげんせつかぶしきがいしゃ 奈良建設株式会社
R 5 いわぶちかんないさがんいじかんりこうじ R 5 岩淵管内右岸維持管理工事	にっさんりょっつかぶしきがいしゃ 日産緑化株式会社
R 4 あらかわかりゅうねっとわーくせつびかいしゅうこうじ R 4 荒川下流ネットワーク設備改修工事	ふそうでんつうかぶしきがいしゃ 扶桑電通株式会社

工事功労者表彰

工事名	会社名
R 4 あらかわかりゅうさがんまつしまよんちようめちくかりゅうこうすいじまくっさくこうじ R 4 荒川下流左岸松島四丁目地区下流高水敷掘削工事	えすえむしーしびるてくのすかぶしきがいしゃ S M C シビルテクノス株式会社
R 4 あらかわかりゅうさがんまつしまにちようめちくかりゅうこうすいじまくっさくこうじ R 4 荒川下流左岸松島二丁目地区下流高水敷掘削工事	かなすぎけんせつかぶしきがいしゃ 金杉建設株式会社

優良業務及び優秀技術者表彰

業務名	会社名	優秀技術者
R 4 あらかわかりゅうかせんかんりこうどかけんとうぎょうむ R 4 荒川下流河川管理高度化検討業務	かせんざいだん・かんとうけんせつ・おりえんたるこんさるたんつつけいきょうどうたい 河川財団・関東建設・オリエンタルコンサルタンツ設計共同体	担当技術者 こもり はるな 小森 遥菜

関東インフラDX大賞表彰

業務名	会社名
R 4 あらかわかりゅうかせんかんりこうどかけんとうぎょうむ R 4 荒川下流河川管理高度化検討業務	かせんざいだん・かんとうけんせつ・おりえんたるこんさるたんつつけいきょうどうたい 河川財団・関東建設・オリエンタルコンサルタンツ設計共同体

【参考】局長表彰

優良工事及び優秀工事技術者表彰

工事名	会社名	優秀工事技術者
R 3 あらかわなかていにしこまつがわまちくごがんこうじ R 3 荒川中堤西小松川町地区護岸工事	かぶしきがいしゃふどうでとら 株式会社不動テトラ	監理技術者 もり たかあき 森 高章

優良業務及び優秀技術者表彰

業務名	会社名	優秀技術者
R 4 あらかわかりゅうちしつちようさげんとうぎようむ R 4 荒川下流地質調査検討業務	かぶしきがいしゃあさのたいせいきそえんじにありんぐ 株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング	主任技術者 みうら ひろし 三浦 理司
R 4 いたばしちくれんらくつうとうしyouさいせつけいけんとうぎようむ R 4 板橋地区連絡通路等詳細設計検討業務	いであかぶしきがいしゃ いであ株式会社	管理技術者 えのもと じゅんいち 榎本 順一

関東インフラDX大賞表彰

工事名	会社名
R 5 いわぶちかんないうがんにじかんりこうじ R 5 岩淵管内右岸維持管理工事	につきんりょつかかぶしきがいしゃ 日産緑化株式会社

(※会社名は50音順)

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R4荒川下流河川管理高度化検討業務
受注者	R4荒川下流河川管理高度化検討業務 河川財団・関東建設・オリエンタルコンサルタンツ設計共同体
発注者	関東地方整備局荒川下流河川事務所

工事・業務概要

荒川下流河川事務所が管理する荒川の維持管理において、定期的・計画的に河川を巡回し、河川管理施設の異常や変化の把握のための点検(巡視)を365日、台風や地震時の緊急的な点検も24時間体制で人員を確保している。これらの点検においては、日々、約50kmの区間を点検するため、点検員に負担がかかることや建設業の担い手不足や点検員の高齢化など人員確保が困難などの課題が生じている。

そこで、課題解決に向けた取組として、河川点検時におけるリアルタイム映像伝送設備(ウェアラブルカメラ)を導入して点検業務の効率化、働き方改革に取り組むこととした。

本業務は、河川巡視においてDX(デジタルトランスフォーメーション)により、河川管理の生産性向上や働き方改革の促進に向け河川管理の高度化の検討を行ったもので、ウェアラブルカメラを用いた河川巡視の検証のほか、河川巡視の高度化の検討を行った。

表彰理由

<有効性>

本業務では現状行われている河川巡視での巡視項目や手段などの実態を整理した上で、多大な労力を要している項目や確認自体が困難な内容、更には危険性を伴う行為などに対して、荒川下流河川事務所管内の地域特性等を考慮しつつ「目的」×「手段」×「コスト」を総合的に勘案し、河川巡視の「ベストミックス」の組み合わせを検討した。

具体には、現状のバイク・徒歩・水上(船舶)での巡視の他、ウェアラブルカメラ、CCTVカメラ、ドローン、人工衛星画像などの手段を用いるとともに、AIによる画像解析技術、映像鮮明化技術を組み合わせることにより、河川巡視への適用可能性を検証することができた。

<先進性>

ウェアラブルカメラにより、巡視開始から終了までの間の現地画像が蓄積できることから、画像を遡ることで現地の異状等要因がどこに潜んでいたのかを究明できる可能性が高く、将来的にはAIによる画像解析技術、映像鮮明化技術を活用してデータを解析し、異常を検知するなど河川管理の高度化が考えられる。また、ドローンにより上空から撮影した画像についても同様に活用可能となる。

<波及性>

河川巡視は、河川維持管理の基本をなすものであり、定期的・計画的に河川を巡回し、その異常及び変化等を概括的に把握するために実施する必要がある。一方、点検員に負担がかかることや建設業の担い手不足や点検員の高齢化など人員確保が困難なことなどは全国的な課題であり、点検業務の効率化、働き方改革は急務となっている。本業務の成果をもとに引き続き検討を進めることで、全国的な河川巡視の高度化に向けた貢献が期待できる。

R 4 荒川下流河川管理高度化検討業務

発注者：関東地方整備局 荒川下流河川事務所
受注者：R 4 荒川下流河川管理高度化検討業務 河川財団・関東建設・オリエンタルコンサルタンツ設計共同体

概要

本業務は、河川巡視においてDX（デジタルトランスフォーメーション）により、河川管理の生産性向上や働き方改革の促進に向けて河川管理の高度化の検討を行ったもので、**ウェアラブルカメラを用いた河川巡視の検証**のほか、**河川巡視の高度化の検討**を行った。

河川巡視については、現状の巡視項目や手段に対し、多大な労力が必要または確認が困難な項目、危険性を伴う内容等を洗い出し、「**目的**」×「**手段**」×「**コスト**」を総合的に勘案し、河川巡視の「**ベストミックス**」を検討した。

有効性

① 平常時の経過観察の頻度・コストの低減に繋がる巡視手段の検討

現在の河川巡視

バイク移動・目視確認



- 河川管理施設の異常のほか、違法行為、危険行為等も多数。
- 水上巡視や夏場の夜間巡視も定期的実施。

出張所に帰庁



・河川巡視
(日誌の作成)

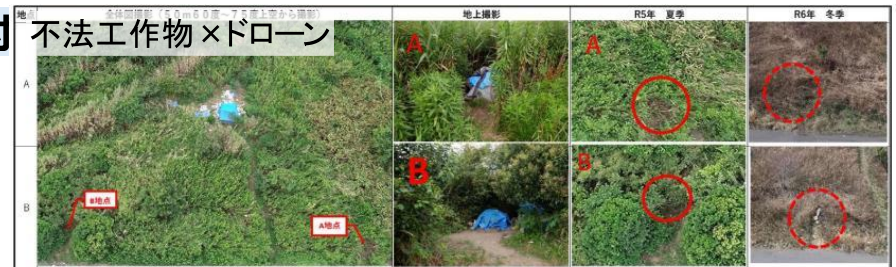
- 出張所職員への巡視結果の報告
- RiMaDISによる入力等

- 不法工作物の定期監視の代替としてドローン巡視の検証を実施した。

→ 季節(植生繁茂)に応じて手段を変えることも考えられる。

- 水上巡視で確認困難な離岸堤の損傷等はドローンにより確認が可能であった。

- このほか、注意喚起看板・ダミーカメラの設置により、違法行為(ゴミの投機等)を減らす工夫も検討。



水際部×ドローン



巡視対象(違法行為等)を削減する工夫



② 緊急時の情報共有や即時対応を可能とするウェアラブルカメラの導入（小名木川DX出張所の取組）

現在の河川巡視

現場から電話 or 帰庁後に職員へ報告ののち、措置・対応（問題点）



- 電話連絡では現場状況が伝わりづらく、的確な判断が難しい。
- [異常の発見]から[措置・対応]までが遅れるおそれがある。

- ウェアラブルカメラを導入することで現在の位置や状況をリアルタイムに伝送でき、出張所から即指示が行える。
- 巡視員の負担軽減、安全確保に繋がる。



出張所・事務所で
状況確認



リアルタイムの
情報共有

R 4 荒川下流河川管理高度化検討業務

発注者：関東地方整備局 荒川下流河川事務所
受注者：R 4 荒川下流河川管理高度化検討業務 河川財団・関東建設・オリエンタルコンサルタンツ設計共同体

先進性

ウェアラブルカメラ、ドローン等による蓄積データの活用検討

- ・ウェアラブルカメラによって巡視開始から終了までに撮影した映像、ドローンやCCTVカメラ等による映像を蓄積していくことで、異常発生 の 要因分析 に活用可能となる。
- ・将来的には、AIによる画像解析技術、映像鮮明化技術等を活用してデータを解析することで、異常を発見するための労力を低減することにも繋がると考えられる（自動検出、アラート等）。

<現場>



<DX出張所>



<将来>



波及性

河川巡視業務の高度化に向けた取組とその水平展開

- ・本業務では、将来の河川管理の姿を含め、河川巡視業務に関する新たな巡視手段の導入や従来手法との組合せ、既存ストックの活用等の「ベストミックス」を検討するため、効率的・効果的な巡視方法を抽出した上で、現状の巡視の目的や内容を代替できるか検証し、適用可能性を検討した。
- ・ウェアラブルカメラの導入では、巡視員の報告～出張所の確認・指示が円滑化された。今後、ドローンやAIを活用し、巡視員・職員双方の負担の軽減を加速化することで、働き方改革や、人員確保にも広がっていくと考えられる。
- ・当面は、現時点での技術的・コスト的な制約等により適用が困難と思われる技術や手段であっても、今後の技術躍進により十分活用が期待されるものも多く存在していることから、本業務の成果を基に、全国的な河川巡視業務の高度化・効率化や働き方改革に向けて、引き続き検討を進めていく。

